

122. 幾何雜錄

松村宗治 (台北大)

(I) x, y, z 曲線, 弧長 s , 三つの函数トシテ

$$(A) \begin{cases} \left(\frac{dx}{ds} \right)^2 + \left(\frac{dy}{ds} \right)^2 + \left(\frac{dz}{ds} \right)^2 = 1, \\ \left(\frac{d^2x}{ds^2} \right)^2 + \left(\frac{d^2y}{ds^2} \right)^2 + \left(\frac{d^2z}{ds^2} \right)^2 = K, \quad (K = \text{const}) \end{cases}$$

ヲ考へル。コレハ東北數學雜誌第二十六卷第十二頁ニ於ケル
塞田先生, 式デ O , 代 $v = K$ フイテ置キカヘタモノデアル。
サテ

$$\begin{aligned} \{\varphi_1(u)\}^2 + \{\varphi_2(u)\}^2 + \{\varphi_3(u)\}^2 &= 1, \\ \left\{ \frac{d\varphi_1(u)}{du} \right\}^2 + \left\{ \frac{d\varphi_2(u)}{du} \right\}^2 + \left\{ \frac{d\varphi_3(u)}{du} \right\}^2 &= K \end{aligned}$$

ナル三ツノ一意的ナ橢円函数 $\varphi_1, \varphi_2, \varphi_3$ ツ考へル。

ツマリ 其, 弧が第一種, 橢円積分ナル球面曲線上, 座標ヲ
考へル, デアル。然ル時ハ

$$\begin{aligned} x &= \int \varphi_1(u) du, \quad y = \int \varphi_2(u) du, \\ z &= \int \varphi_3(u) du. \end{aligned}$$

トナルコトガ此, 頃自分 = 余ッタ。尤モ K が零化セシ場合 =
ツイテハ自分ハ先達テヨリ三ツ, 四ツノ別解ヲ試ミタノデア
ル。

(II). 無限次元 R^∞ = 於ケル球ノ理論ヲ考ヘルコトハ粗
審面白イコトナイカト恩ツテ目下者究中デアル。余ハ以前
台大紀要デル次元=於ケル球ヲ考ヘタガ、ソレヲ擴張スルノ
デアル。ソシテ

$$g^\alpha (\alpha = I, II, \dots, W)$$

デ W が 有限ナル正ノ自然数デアベソレハ R^∞ 内=於ケ
ル内デアルトスル。而シテ円系表面、理論其他ヲ考究スルコ
トハ面白イカト恩ハレル。

又次ニ適當ニ組立テ *Hilbert* 空間=於ケル球ノ幾何、
研究ハ如何カト考ヘラレル。

(III) 近頃相對幾何ト擬似幾何ト、交渉ハ論セラレツ、ア
ルが相對幾何ト射影幾何等、交渉ハ如何カト恩ハレル。

以上此レ等ニツイテハ段々 = 自分ノ及ズダケヲ 考究シタイ
ト考ヘテキル。

幾何學諸問題.II, 本誌36号, 111へ, 正誤

高須 鶴三郎

次ノ表ハ原稿デハ正シクナツテ居タノデスガ一部鉛筆書、
所ガ脱落シテ出マシタカラ(タリ) 訂正シテ置キマス。